

## 投稿規程

- ① 本誌への投稿は、原則として共著者も含めて本学会会員のものに限る。
- ② 原稿は、思春期学の進歩、発展に寄与するもので、他誌に発表された原稿（予定も含む）の投稿は認めない。投稿に際して、筆頭著者は「投稿原稿は、その内容が過去に他誌に掲載されたり、現在も掲載（投稿中のものを含む）が予定されていないこと」を編集委員会宛の上書に明記する。
- ③ 本誌は原則として投稿原稿およびその他によって構成される。
  - 1) 投稿原稿の種類とその内容および刷上り制限頁数は以下のとおりとする。
    - i) 原著（オリジナルな研究論文及び科学的観察） 10頁
    - ii) 短報（オリジナルな研究の短報もしくは緊急性のある速報） 5頁
    - iii) 総説（調査研究論文の総括と解説） 15頁
    - iv) 活動報告（思春期研究・活動における実践報告） 10頁
    - v) 臨床報告（別事例・疾患に関する報告） 10頁
    - vi) 資料（思春期研究上有用な資料） 7頁
    - vii) letter to editor（掲載論文に対する意見、関連学会の報告など） 1頁
    - viii) 文献紹介（タイムリーに紹介することが重要である論文） 2頁  
（刷上り1頁：400字詰原稿用紙4枚相当、図表1枚：原稿用紙1枚相当）  
本誌には上記のほか、編集委員会が認めたものを掲載する。
  - 2) 投稿原稿のうち、i) ii)の構成は原則として次のようにする。  
表紙（表題〈英文併記〉、所属〈英文併記〉、著者名〈英文併記〉）  
抄録（400字以内）  
キーワード（英語5個以内）  
緒言（研究の背景・目的）  
研究方法（研究・調査・実験・解析に関する手法の記述、対象の選択）  
研究結果（調査・研究の結果）  
考察（結果の考察および展望）  
文献（文献の記載は⑥-11）に従う）  
図・表  
図表の説明（図・表の説明をまとめて記載する）  
英文抄録（500 words 以内）
- ④ 各原稿における制限頁以内までの掲載料は本会で負担する。ただし、超過頁については1頁あたり1万円を著者負担とする。
- ⑤ 編集委員会は投稿原稿について修正を求められることがある。修正を求められた原稿はできるだけ速やかに再投稿すること。返送の日より6か月以上経過して再投稿されたものは、新投稿として扱うことがある。なお、返送から6か月以上経過しても連絡がない場合は、投稿とり下げとみなし原稿を処分することがある。編集委員会で修正を求められた場合は、指摘された事項に対応する回答を、別紙に明確に付記すること。
- ⑥ 投稿原稿の執筆要領
  - 1) ワープロ使用が望ましい。A4判の用紙に、横書きで、32字×25行で印字する。数字及び英字は原則として半角とする。  
手書きの場合は、A4判400字詰横書き原稿用紙を使用する。数字及び英字は原則として1マスに2字とする。
  - 2) 新かなづかいを用い、できるだけ簡潔に記述する。
  - 3) 投稿原稿は原則として日本語とするが、英語の原稿の投稿も可とする。ただしその場合は必ず英語論文の校正証明を添付すること。図、表および写真の説明は英文で記載してもよい。
  - 4) 数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを用いる。
  - 5) 特殊な、あるいは特定分野のみで用いられている単位、符号、略号ならびに表現には必ず

簡単な説明を加えること。

- 6) 外来語は片かなで書く。外国人名や適当な日本語略のない術語などは原綴を用いる。手書きの場合ローマ字は活字体(なるべくタイプ)を用い、イタリック体で記述する場合はアンダーラインで示す。
- 7) 図、表および写真には図 1、表 1 および写真 1 などの番号をつける。さらに本文とは別に、まとめて一枚に図表毎の簡潔な説明を記載する。原稿本文の欄外にそれぞれの挿入希望位置を朱書き指定する。図表は、そのまま製版し掲載できる明瞭なものとする。
- 8) 原稿には表紙を付し、上半分には希望する原稿の種類、別刷必要部数(朱書)、表題、原稿枚数、図表および写真の枚数を記載する。下半分には、著者名、所属機関名、および連絡者の氏名および連絡先(所属機関、所在地、電話、ファクシミリ、電子メールアドレス)を付記する。

異なる機関に属する者の共著である場合は、所属機関に番号をつけて氏名欄の下に一括して示し、その番号を対応する著者の氏名の右肩に記す。
- 9) 種類 i), ii)には500 words以内の英文抄録をつけること。ただし種類 iii), iv), v), vi), vii), viii)については、これを省略することができる。英文抄録はタイプ(ダブルスペース)し、必ず、専門家によるチェックを受けること。
- 10) 論文の内容が倫理的考慮を必要とする場合は、必ず「方法」の項に倫理的配慮をどのように行ったかを明確に記載すること。
- 11) 「思春期学研究の利益相反(COI)に関する指針」に従い、利益相反の有無を論文末尾に明記し、別紙「自己申告によるCOI報告書」を著者全員についてそれぞれ1枚ずつ記載し併せて提出すること。
- 12) 文献の記載様式
  1. 出所順に、1), 2), 3) の番号を付し、末尾に一括記載する。
  2. 雑誌の場合には著者名(著者が7人以上の場合は、最初の6人まで記載し「ら」

もしくは「et al.」とする)、表題、雑誌名、発行年(西暦)、巻数、頁の順に記す。なお誌名は略称を用いる。

3. 単行本の場合は、著者名、表題、本名(編集者名)、発行地、発行者、発行年、引用頁数の順に記す。
4. オンラインジャーナルの場合は、著者名、表題、雑誌名、発行年(西暦)、(巻数、頁、)DOIの順に記す。なお誌名は略称を用いる。
5. ウェブサイトの場合は、機関名、表題、発行年、URLの準に記す。

例)

- 1) Lemen PM, Wigton TR, Miller-McCarthy AJ, Cruikshank DP. Screening for gestational diabetes mellitus in adolescent pregnancies. *Am J Obstet Gynecol.* 1998;178:1251- 6.
- 2) 宮原春美, 久保田健二, 安日泰子. 大学生の AIDS に対する知識と意識および性行動. *思春期学.* 1996 ; 14 : 267- 71.
- 3) 早乙女智子. 思春期女性のヘルスケア, 新女性医学大系 11 リプロダクティブヘルス. 東京: 中山書店; 2001. p 22- 29.
- 4) Doki S, Sasahara S, Matsuzaki I. Psychological approach of occupational health service to sick leave due to mental problems: a systematic review and meta-analysis. *Int Arch Occup Environ Health.* 2014. DOI 10.1007/s00420-014-0996-8.
- 5) 厚生労働省. 平成23年国民健康・栄養調査報告. 2011 [last access 2015 Mar 10]. Available from : <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou/h23-houkoku.html>.

⑦ 投稿原稿は本文、図、表、写真などもすべて正1部、副3部を送付する。副本は複写でもよい。必ず原稿とともに論文投稿チェックリストを1部添付すること。原稿はMS-Wordで作成し、CDに記録し一枚を同封すること。なお送付されたCDは返却しない。

⑧ 投稿原稿送付の際は封筒の表に「思春期学原稿」と朱書し、下記に書留で郵送する。

〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-5 石渡ビル6F  
株式会社プランニングウィル内

「思春期学」編集事務局

(Tel: 03-5684-4755/Fax: 03-6801-8094)

- ⑨ 原稿の採否は編集委員会で審議し決定する。掲載原稿の著作権は本学会に帰属する。他誌および書籍へ図表を転載する場合は、書面でその旨を編集委員会に申し出た上で、著者および編集委員会の許可を得なければならない。
- ⑩ 校正は初校のみ著者校正とする。ただし、組版面積に影響を与えるような改変や極端な組

み替えは許されない。

⑪ 別刷は著者負担とする。

⑫ その他、本規定に関する問い合わせは事務局へ問い合わせること。

備考

1. 印刷ずみの原稿，図表は原則として返還しない。
2. 投稿後，記載に必要な費用がある場合には著者に連絡する。
3. 投稿規定に該当しない時は，その旨を記して返送することがある。

(改定 平成30年 8月17日)